

## 運動器標準評価法習得コース 全13日間

① 日 時：2022年10月16日（日）～2023年9月3日（日）各9：30～16：30

② 内 容：

評価総論では運動器標準評価法習得コースの各論講義を受講する前提として、評価の概略を述べた上で、基本的な原則を解説します。

各論講義では、評価総論で学んだ内容を踏まえ、何か一つの検査結果に固執して安易に決めつけるのではなく、様々な所見から総合的に考えて結論を導くことや、仮説に基づいて治療するのではなく、仮説を検証する過程を解説します。

各論実技では、上肢、下肢、体幹下部、体幹上部の各論講義で学んだ内容について、筋・神経の触診や評価手技を実践することで習得します。

評価総論は必修となります（オンデマンド受講が可能です）。

各論講義は評価総論受講後に自由に選択受講が可能です。

各論実技は対応する各論講義を受講後にお申込みが可能です。

評価総論は以下の内容で構成されます。

1. 原則的評価手順として、必要な検査項目とは何か。
2. 各検査はどのような順に行うべきか。
3. 個々の検査とその意義、検査結果の意味するもの。
4. 主観的評価に基づく臨床推論(仮説の設定)。
5. 客観的評価に基づく臨床推論(問題点の整理と導き出された結論)。
6. 得られた結論の確認。
7. 治療プログラムの設定と効果判定。

各論講義では関節毎に以下の順に進めることで、評価の原理原則を習得していきます。

1. 機能解剖と運動学の理解。
2. 評価総論で学んだ原則的評価手順に従い、各検査を具体的に解説。
3. 病歴聴取によって得られた「患者の発した言葉」は何を意味するのか。
4. 観察は何をどう観るのか。得られた情報は何を意味するのか。
5. 病歴聴取と観察からどのように初期仮説を立てるのか。
6. 仮説を検証するために必要な具体的検査項目と結果の意味するもの。
7. 個々の検査を運動連鎖の視点で捉えたうえでの結論の導き方。
8. 得られた結論の検証。

各論実技では各論講義の内容に沿って、筋・神経の触診及び評価手技・手順を実践します。

③ 講 師：林寛（PT, OMPT）

④ 会 場：講義（オンラインまたは対面）

A. オンライン：ZOOM（評価総論はオンデマンド配信での受講可）

B. 対面：THYME Physical Conditioning Academy（岐阜県岐阜市三番町17番地）

：実技（対面のみ）

平成医療短期大学を予定

- ⑤ 受講費：評価総論 1日 5,000円 (PDFテキスト込)  
各論講義 全2日 各8,000円 (PDFテキスト込)  
各論実技 1日 各6,000円 (テキストは各論講義のものを使用します)

その他、年間受講、「講義+実技」の各論セット受講もご用意しています。  
年間受講 全13日 55,000円 (PDFテキスト込)  
各論セット受講 全3日 各13,000円 (PDFテキスト込)

- ⑥ 定員：オンライン・対面ともに定員になり次第締切。(対面は若干名)

- ⑦ 申込先：HP (<https://mptsesa.wixsite.com/home>) よりお申込みください。

- ⑧ 締切：必修講義 評価総論 2022年10月12日(水) 23:59  
：各論講義 上肢 2022年11月3日(水) 23:59  
：各論講義 下肢 2023年2月1日(水) 23:59  
：各論講義 体幹下部 2023年5月10日(水) 23:59  
：各論講義 体幹上部 2023年8月2日(水) 23:59

※評価総論はオンデマンド配信での受講も可能です。

※年間受講の締切は評価総論の締切日となります。

※各論「講義+実技」のセットの締切は、対応する各論講義の締切日となります。

※各論実技(対面)は対応する各論講義を受講の後、各実技開催予定日の  
4日前(前週の水曜日)が締切となります。

- ⑨ 主催：運動器理学療法標準評価普及協会  
後援：岐阜県理学療法士会

その他：

詳細はHP (<https://mptsesa.wixsite.com/home>) をご参照ください。

お問合せ先 運動器理学療法標準評価普及協会 事務局 小木曾  
MAIL：[mptsesa@gmail.com](mailto:mptsesa@gmail.com)